

図－5 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計965箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施した。
 <超音波検査(肉厚測定):922箇所、内面目視検査:43箇所>

○2次系配管の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の 点検対象部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,738	843
その他部位	1,351	79
合計	3,089	922

○2次系配管の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部43箇所について、配管内面から目視点検を実施した。

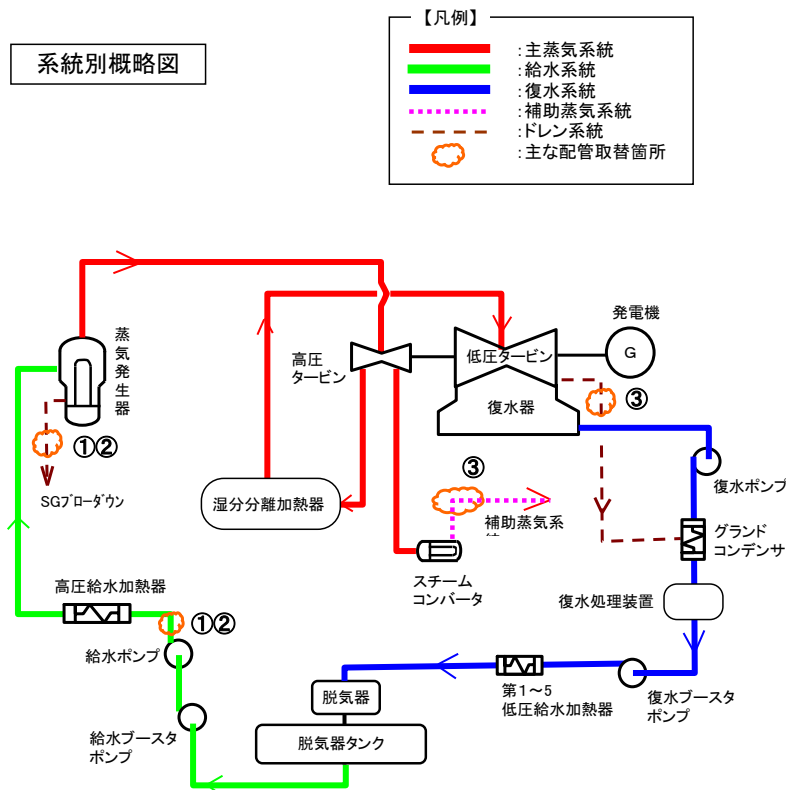
(結果)

必要最小厚さを下回っている箇所、および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価された箇所はなかった。

取替概要

○今回定期検査開始時には、48箇所の配管取替を計画していたが、今後の保守性を考慮して46箇所を追加し、合計94箇所の配管を耐食性の優れたステンレス鋼または低合金鋼の配管に取り替えた。

系統別概略図



【取替理由】

- 過去の点検結果で減肉が認められているため計画的に取り替える箇所
 (5箇所)
 ・必要最小厚さとなるまでの期間が5年未満の箇所
 (4箇所)
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 2箇所
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 2箇所
 ・必要最小厚さとなるまでの期間が5年以上の箇所
 (1箇所)
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 1箇所
 - 配管取替による作業性^{※1}を考慮して取り替える。
 (30箇所)
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 23箇所
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 7箇所
 - 配管の保守性^{※2}を考慮して取り替える。
 (59箇所)
 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 46箇所
 (46箇所を追加取替)
 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 13箇所
- (合計 94箇所)

※1 配管取替時に近隣の配管も一緒に取替えた方が作業がし易いため取り替えた。

※2 狭隙部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替えた。